

第8期計画の評価に基づき、重点目標のうち未達成のもの及び継続すべきものは、目標値を適正に修正した上で継続します。また、第9期計画の理念及び基本目標等を踏まえ重点目標を設定します。

## 第9期計画（令和6年度～令和8年度）

### 第8期計画(令和3年度～令和5年度)

#### 重点目標1 「通いの場」の拡充 達成

✓ 週1回以上活動する「通いの場」を3年間120か所増やす。

#### 重点目標2 ご近所型介護予防事業の推進 未達成

✓ 3年間で参加者実人数を600人に増やす。

#### 重点目標3 認知症ボランティアの養成と活動推進 未達成

✓ 3年間で実活動人数を200人に増やす。

#### 重点目標4 介護人材の確保 未達成

✓ 介護人材を3年間で30人市内介護事業への採用につなげる。

#### 重点目標1

誰もが住み慣れた地域でその人らしく人生の最期まで暮らせるよう、必要なサービス提供や支援を行う体制を確保する。

➔ 令和4年度のアンケートで、介護職員に不足があると回答した市内介護事業所数の割合(51%)を、令和8年度までに41%以下にする。

#### ●介護(看護)離職防止及び生産性の向上への取組支援

➢ 介護ロボットやICT機器の導入に関する情報提供を年1回行う

#### ●外国人介護人材採用の支援

➢ 採用方法、受入れの環境整備、外国人介護職員の声を聞く場を年1回開催する

#### ●元気な高齢者等多様な人材の活用

➢ ボランティアの活用を希望している介護(看護)事業所に対して、シルバー人材センターや社会福祉協議会のボランティア事業を紹介する説明会を年1回開催する

#### ●就職支援、求職者(学生含む。)と介護(看護)事業所とのマッチング

➢ 介護・看護分野の就職又は進学につなげるため、介護に関する研修を市内外の高校生向けに年1回開催する。  
➢ 小学生向けに高齢者への理解を深める事業を年1回、中学生向けに介護の仕事に関する魅力発信及び職場体験会を年2回実施する

#### ●認知症ケア体制を充実する

➢ 認知症カフェを 12か所にする

令和5年度 9か所(うち、1か所は令和5年度中に増設予定) ⇒ 令和8年度 12か所

➢ すべての認知症カフェ、あんしん声かけ体験(徘徊模擬訓練)に認知症サポーター養成講座修了者がボランティアとして参加する

#### 重点目標2

健康でいきいきとした高齢者を増やし、介護サービスを必要とする人を抑制する

(令和12年度に要介護・要支援認定者数(率) 4,476人(17.5%)⇒4,200人(16.5%)

➔ 令和8年度に要介護・要支援認定率 15.1%

#### ●各種検診の受診促進の強化

➢ 行田市国民健康保険保健事業実施計画、行田市健康増進・食育推進計画にて実施する

#### ●高齢者保健事業と介護予防の一体的事業の推進

➢ (目標について調整中)

#### ●通いの場(通える場)での介護予防活動を拡大する

➢ ご近所型介護予防事業(100歳体操、リズム体操等の運動を組み合わせたもの)

令和5年度 12か所 ⇒ 令和8年度 30か所(1年度に6か所ずつの増)

➢ 住民主体の介護予防に資する活動(文化、スポーツ、レクリエーション等)の場を市内120カ所以上維持する

➢ 通いの場への移動手段を創設し、通える環境を整備する